

丸の内エリアビル内、東京駅前地下広場に設置された計 189 面のビジョンで インプレッション（VAC）に基づいたデジタル OOH 広告配信を開始



株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長 櫻井 順 以下、LIVE BOARD）は、三菱地所株式会社が運用・管理する丸の内エリアビル内に設置された『Marunouchi Vision』（99 面）、『Marunouchi Link Signage I』（52 面）と、丸の内線東京駅改札前の東京駅前地下広場に設置された『Marunouchi Link Signage II』（38 面）を「LIVE BOARD マーケットプレイス^{※1}」に接続し、インプレッション（VAC）^{※2}をベースにしたデジタル OOH^{※3}の広告配信を 2024 年 3 月 11 日（月）より開始します。

日本のビジネスの中心地である丸の内エリアは、商業施設も多く年間を通して様々なイベントが開催され、若者からビジネスパーソン、ファミリー層など幅広い年代が集まります。丸の内を中心に大手町や有楽町のビル、東京駅地下改札前広場など、丸の内エリアを網羅するビジョンにより、広い範囲で訴求が可能となります。

インプレッション（VAC）は、属性を NTT ドコモの携帯電話ネットワークの運用データを基にした人口統計「モバイル空間統計^{®※4}」やその他位置情報等のデータにより計測します。「LIVE BOARD マーケットプレイス」に接続することで、広告クリエイティブのプログラマティックな展開が可能となり、多様なライフスタイルに適應した広告配信が行えるようになります。

※1 LIVE BOARD が取り扱う自社・他社を含めたデジタル OOH 広告枠（インベントリ）の全体を指す

※2 LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション（VAC = Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数）を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数（OTS=Opportunity to See）のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるべ人数（OTC=Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮）を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を見るであろうべ人数（VAC）を推計しています。

※3 Digital Out of Home の略。交通広告、屋外広告、商業施設などに設置されたデジタルサイネージを活用した広告媒体

※4 「モバイル空間統計」は、NTT ドコモの携帯電話ネットワークの仕組みを使用して作成される人口の統計情報です。集団の人数のみを表す人口統計情報であるため、お客さま個人を特定することはできません。NTT ドコモは、お客さまのプライバシーを厳重に保護するべく、モバイル空間統計を作成・提供する際に順守する基本事項をまとめたガイドラインを公表しています。モバイル空間統計ガイドラインについては以下より

(https://www.docomo.ne.jp/corporate/disclosure/mobile_spatial_statistics/guideline/index.html) ご確認いただくことが可能です。また、「モバイル空間統計」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

◆媒体概要

- 『Marunouchi Vision』

ビルのエントランスやリフレッシュルーム、エレベーターホールなど人々が足を止める場所に設置された音声付モニターで、様々な情報を届けることが可能です。

- ・連携開始日：2024年3月11日（月）
- ・掲出場所：計 22 ビル+東京駅前地下広場
- ・サイズ：32~246 インチ
- ・設置面数：99 面
- ・掲出時間：8：00~22：00
- ・音声：あり ※一部音声なしのモニターあり
- ・[媒体情報はこちら](#)



- 『Marunouchi Link Signage I』

丸の内ビルや新丸の内ビル、丸の内パークビル、丸の内オアゾなど丸の内の中心部にあり、丸の内を象徴するビルに設置されたデジタルサイネージです。

- ・連携開始日：2024年3月11日（月）
- ・掲出場所：ビル内商業フロア計 13 ビル
- ・サイズ：85、65、55、50 インチ
- ・設置面数：52 面
- ・掲出時間：8：00~22：00
- ・音声：なし
- ・[媒体情報はこちら](#)



- 『Marunouchi Link Signage II』

丸ビル、新丸ビル、東京メトロ丸ノ内線「東京駅」改札すぐの、広々として明るい東京駅前地下広場に38面設置された連続性のあるデジタルサイネージです。

- ・ 連携開始日：2024年3月11日（月）
- ・ 掲出場所：東京駅前 地下広場
- ・ サイズ：65インチ
- ・ 設置面数：15柱・全38面
- ・ 掲出時間：8：00～22：00
- ・ 音声：なし
- ・ [媒体情報はこちら](#)



◆LIVE BOARD 全国のスクリーン

現在、LIVE BOARD のスクリーンは、全国に63,500以上に伸長しており、自社で設置したスクリーンだけでなく、他社との連携も日々拡大中です。URL：<https://liveboard.co.jp/screen>

◆株式会社 LIVE BOARD

データドリブンにターゲティングや効果検証を実現する
デジタル OOH アドネットワークオペレーター

OOH 領域において国内で初めてインプレッション（VAC）に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、"そのとき、その場所で、その広告を"見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった"ヒト"基点による配信を可能にしました。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 櫻井 順
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル7階
資本金	27.55 億円
営業開始日・創立日	2019年2月1日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<本リリースに関するお問合せ先>

LIVE BOARD 広報事務局 担当：朝倉、安部

TEL：090-5393-0219 / 03-5843-0932 E-mail：info_press@liveboard.co.jp